

学校評価委員会開催議事録

日時 2021年5月11日(火) 10:30～11:30

新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 8階 会議室

参加者 片山先生 浅野副校長 勝田科長 大西主任 長井事務長

書面 對馬様 牛様 (事前に自己評価をお送りし書面にてご意見を頂いた。)

法人について 長井事務長

新校舎の建設は、今のところ順調にきている。2022年4月新校舎にて開校予定。

今期入学者数の報告

歯科技工士科は例年定員割れしている為認知度向上に努めていきたい。

教育目標 今年度重点目標発表 (別紙資料にて)

歯科衛生士科 大西主任

反省

令和2年度は、全学年で退学者が8名。

自己都合の学生もいたが、コロナやその後の長期休暇の間に学校への興味を失った学生が退学を考え、実際に退学してしまう学生もいた。

その間、学生と学校間で連絡が途絶えた事は無かったが、心のケアが不足していたと考える。また、国家試験は、100%を維持できたものの試験間近になり、取りこぼしのあった学生がいた。

指導時の基礎知識や一般常識の無さ、本人の特性から、全教員間より不安の声が出たのにもかかわらず、模擬試験の点数だけを指標にしてしまった。

もっと学生の様々な状況に目を向けるべきだったと課題が残った。

目標

1 国家試験合格100パーセントの維持

- ・ 早期より国家試験対策に入り、成績不良者を抽出する。
- ・ 点数だけでなく、学生の性質、環境、体調も考慮し、取りこぼしの無いよう、補講者の決定をする。

2 入学者を充足し退学者・休学者を無くす

- ・ 他職種とは異なる明確な魅力を提示する。
- ・ 当校の教育理念に沿った教育により輩出した卒業生の例を挙げ、具体的に将来像をイメージさせる事で、志の高い入学者を獲得する。
- ・ 在校生に対し、長期休暇の前後のケアを徹底する。

3 多職種連携を意識したカリキュラムの構築

- ・ 歯科技工士科との合同講義、実習の機会を増やし、お互いの理解を深める。
- ・ 関係施設、協力施設との連携を深め、実習内容の見直しを図る。

4 非常時における講義、実習内容の強化

- ・ 従来通り、在宅でのインターネット授業を行い、学生の理解、反応をリアルタイムで確認出来るような講義を引き続き行なう。
- ・ 登校出来ない状況が長期に及んだ際には、現在ほとんど行なっていない、インターネット授業での実習について内容の充実を図る。

歯科技工士科 勝田科長

反省

国家試験合格率100%は維持したものの下位学生へのフォローに関しては、始動が遅く来期への課題が残る結果となった。指導、教室全体の把握が不足していた。実習中の対応の中でも全体を気にしながら状況確認が必要であった。

目標

1 国家試験合格率100%の維持

(1) 教育・指導の質の向上

サポートのみで済ませるのではなく、時には課題提出などを与え社会に出ることを想定させ、学習意欲を低下させないよう管理の方法サポート体制をとる。

簡単には解決できない問題もあるが、最後までやり遂げられるよう粘り強く指導にあたり、信頼関係が構築できるよう努める。

(2) 国家試験・進路指導の充実

学生全体はもちろん個々の見極めを常に行い、学生支援を進めていきたい。国家試験合格については100%を維持し続けられるよう必要に応じて力を注ぐ時間を増やし、安心して臨むことが出来るようにと成果が発揮できるよう努める。

特に学科における予定については学科予定計画の修正など可動的に行えるよう体制を整え準備する。

学生への対応に幅を広げられるよう、担当科目だけではなく、総合的に科目を理解し、指導力の強化の体制をとる。

2 入学者数の拡大、退学者・休学者ゼロの実現

(1) 「報告・連絡・相談」の徹底

情報共有は必須。

(2) 遅刻・欠席者の減少対策

基本的な生活習慣を意識させる。精神面の不安、学力低下傾向にある学生への兆候は見逃さず早めの対応を行う。担任の学級指導力が高められるよう学生に寄り添えるような考えとコミュニケーションをとり必要に応じ面談を行い改善させられるよう努める。

(3) 学生募集での職業の将来性、成功例の情報伝達

学校認知を並行させる。SNSでの情報、オープンキャンパス参加時での卒後の成功例、就職先での様子など現況の情報を伝え将来像をイメージさせやすくする。

3 多職種連携を意識したカリキュラムの構築

(1) 関係施設・協力施設の連携強化

校外学習の場の拡大が必要になった場合への対応

4 非常時における講義、実習内容の強化

(1) WEB公開できる資料制作

実習、講義で使用した。内容整理と復習に使用可能に出来るように学生公開フォルダを構築

その他

(1) 移設による機材整理・準備

(2) 各科長のリーダーシップと行き届いた職員指導（自身の反省）

判断力、決定事項に迷いや不安を感じてしまい、経験不足な面が多々あった。

評価委員会から

書面の方2名については、別紙参照

片山先生

毎年国家試験100%を継続するのはすごいことです。

教員間のミーティングもしっかりと行えているし

生徒の挨拶も良く出来ていて指導がいきわたっていると感じる。

歯科技工士科について認知度が低い理由については、様々な要因が考えられる。認知度向上につながるように協力していきたい。外国人の就労ビザが取得できないことについても全体で考えていく必要がある。

以上

令和3年4月22日

共生学園学校関係者評価委員会

氏名 片 芳

お気づきの点がございましたら、どんなことでも結構ですのご記入ください。

○法人運営について

○歯科衛生士科について

成人学生への対応にご苦労されていることが分かります。歯科医院での対応などを担当される歯科衛生士は温かく優しい言葉遣いが大事である。又、保健、医療、福祉などにおけるチーム支援、多職種職と十分なコミュニケーションと連携も取るについて、学校にもと勉強を促したら、いいと思います。

○歯科技工士科について

○その他

学校に行った時、学生の皆さんがとても元気よく挨拶をしていました。職員の皆さまもしっかり挨拶を返し、雰囲気が良いと感じました。社会に出てからも挨拶は大事な事なので、学校全体でこのまま変わらず続けて欲しいと思います。

ご協力ありがとうございました。

令和3年 4月 18日

共生学園学校関係者評価委員会

氏名 對馬綾子

お気づきの点がございましたら、どんなことでも結構ですのご記入ください。

○法人運営について

法人の役割、責任を果たすべく、全ての方が毎日、学校運営のため、生徒たちのため、尽力いただいております、ありがとうございます。

学校の行事、状況などは、SNSやメールを通して配信されていて親にとって学校の事が分かりやすい状況になっており、安心して通わせることが出来ています。両学科とも国家試験の受験率、合格率はすばらしく、運営において様々な事が整っており、問題ないと思われま。

○歯科衛生士科について

少人数制ということもあり、先生、講師の方達の目が行き届き、授業、実習とほとんどの生徒が真面目に取り組んでいる印象です。

昨年度の気になった事は口腔衛生学についてです。

生徒の半分以上が単位を落としたという数字を見て、授業が分かりやすいものであったか、生徒達の習得状況が悪いものであったのか、授業内容に関して疑問に思う所がありました。生徒達のアンケートもあった様ですので、万が一、改善点があれば、今後の授業へ行かせていただくと良いと思います。

○歯科技工士科について

歯科技工士科という専門学科のアピールの強化を行なうと良いと思います。高校生の認知度は歯科衛生士科より小さいというアンケート結果もあったようです。

実際、娘は、歯科衛生士科と決めていたことあったかも知れませんが、高校一年生からオープンキャンパスに参加させていただいていましたが、高校三年生の試験前に歯科技工士科について興味を持ち始めました。

中学、高校で美術部に入っており、細かい作業が好きの様で、技工士の先生のお話で迷っていたようです。

○その他 衛生士科でのオープンキャンパスでも技工士の先生、生徒さんからお話ししてくださると、興味を持たれる方がいるかもしれないと思います。

この度、評価委員会に参加出来ず、申し訳ございませんでした。

通常、平日の休日も調整できるのですが、4/28 オープンの店舗の準備に携っており、振替が出来ませんでした。

ご協力ありがとうございました。